

「第1回探究心を育む『遊び』研究会」報告会を開催します

保育・教育実践における研究成果を保育士・教諭が報告

こども青少年局では、「よこはま☆保育・教育宣言」における保育・教育環境の創造と子どもの主体的な遊びを実現し、これからの時代に求められる探究心などの力を育成する保育者や教員、職場を応援するプロジェクトとして、「探究心を育む『遊び』研究会」を立ち上げました。

その成果報告を、幼稚園、認定こども園、保育園、小学校及び特別支援学校の保育士・教諭が行います。なお、第1部の表彰・セレモニーでは、こども青少年局長と第一生命保険株式会社横浜総合支社長が研究の成果に対する表彰を行います。

「遊び」ってすごい！1年間の
研究成果を発表します。



実施概要

令和5年1月14日(土)

市庁舎アトリウム(横浜市庁舎1F)

第1部 表彰・セレモニー 13:00~

・研究の成果に対する表彰

・大学講師による講評

第2部 報告会 14:00~15:30

・38名の研究者による成果報告
(10のブースに分かれた発表)

第1部、2部ともに、どなたでも自由にご参観いただけます。

夢中になって遊ぶ子供たちの笑顔と
成長を、ショート動画で紹介します。

取材していただける場合は、1月13日13時までに、下記連絡先までご連絡をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法を変更する場合があります。

【裏面あり】

お問合せ先

こども青少年局保育・教育支援課幼保小連携担当課長 田村 憲一 Tel 045-671-3708

探究心を育む「遊び」研究会報告会の開催にあたって

～自発的な遊びの中で育まれた「探究心」や「やり抜く力」をこれからの学びにつなげるために～

1 新規事業立ち上げの趣旨

「探究心を育む『遊び』研究会」は、「よこはま☆保育・教育宣言」における保育・教育環境の創造と子どもの主体的な遊びを実現し、これからの時代に求められる探究心などの力を育成する保育者や教員、職場（チーム）を応援するプロジェクトとして立ち上げられました。また、研究員の実践と成果を表彰し、共有することで取組を波及・拡大させ、横浜市内の保育・教育の実践の質向上に寄与したいと考えました。

令和4年度は、市長賞及びこども青少年局長賞とともに連携協定先である「第一生命保険株式会社」の協賛を受けて副賞を創設しました。

2 保育・教育の実践の質向上 応援プロジェクトの目的

(1) 「よこはま☆保育・教育宣言」における保育・教育環境の創造と子どもの主体的な「遊び」を実現する

「探究心を育む『遊び』研究会」の実践研究・開発により、あらためて「よこはま☆保育・教育宣言」の内容を理解し、大切にしたい考え方や方向性の共有とともに、《宣言2》「子どもの育ちと学びを支える主体的な「遊び」を大切にします」の具現化を一層進めます。

(2) これからの時代に求められる資質・能力の基礎を育む

子ども主体の「遊び」の過程では、言葉のやりとりや思考力、探究心の芽生え、社会情緒的スキル等といった様々な力が培われ、その力が小学校入学後にも発揮されるといわれています。「遊び」に関する研究を通して、生きる力の育成を図ります。

(3) 取組の共有による全市的な波及・質の高い実践の拡大を図る

取組の成果を全市的に発信し、「遊び」の重要性についての認識を社会に広めるとともに、効果の波及・質の高い実践の拡大を図ることにより、横浜市の保育・教育の実践の質向上につなげます。

(4) 行政と民間が連携し、新たな事業機会の創出と社会的課題解決に取り組む

横浜市と第一生命保険株式会社が包括的連携に関する協定を締結したことに基づき、将来にわたり安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、健やかな育ちを守る取組の推進に寄与します。

3 実施方法

(1) 研究員 38 名それぞれが研究テーマを設定し、実践研究を行いました。

(2) 年間4回の研修会を設け、大学教授等による講演等を通して研究員に対する助言を行いました。

(3) 研究成果物（動画等）を活用した取組の報告会を行います。